

品種 はとむぎ「東北3号」

はとむぎ「東北3号」は従来品種の「はとじろう」より収量性が高い。また、「はとじろう」と同様に短稈で着粒層も狭く機械収に適する。

表1 「東北3号」の主な特性（岩手県農業研究センター：北上市、平成13～15年）

品種・系統名	東北3号	はとじろう	
播種期	5月1日	5月1日	来歴 母：「東北1号」 父：「奥羽4号」
開花期	7月23日	7月22日	
成熟期	9月26日	9月25日	
草丈(cm)	191	186	交配年：昭和63年
茎数(本/株)	8.1	10.2	
鞘状苞数(個/株)	126	156	育成地：東北農業研究センター
着粒層	73	74	
殻実重(kg/10a)	457	374	
百粒重(g)	13.6	12.9	
リットル重(g)	511	508	
倒伏程度	中	少～中	
葉枯病	少	微	

表2 お茶加工適性(平成14年産；岡山市Y食品)

生産地	加工適性	製品歩留	加工品質	総合評価	概評
東北農研	同等	良い	良い	良い	製品歩留まりが良く、お茶としての品質は高い。
岩手農研	同等	若干劣る	同等	同等	
東和町	同等	良い	良い	良い	

注)東和町は岩手農研産の「はとじろう」と、その他はそれぞれの産地の「はとじろう」と比較

主な特徴

- ・ 殻実収量は「はとじろう」より20%程度高い。
- ・ 着粒層は「はとじろう」と同等で機械収穫に適する。
- ・ お茶加工適性は「はとじろう」と同等～優る。

留意点

- ・ 脱粒は「はとじろう」並に生じやすいので、刈り遅れないよう努める。
- ・ 葉枯病にやや罹病しやすいので連作を避け、発生がみられた場合は対象薬剤を散布する。
- ・ じゅずだまや他のはとむぎ品種と容易に交雑するので、採種栽培においてはこれらから隔離(600m以上)して栽培する。



生育中の様子



はとむぎの子実(左：東北3号、右：はとじろう)